

# 小松市立学校PTA連合会

# PTAだより

## 第77号

### <市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地  
小松市立芦城小学校内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

pt@kcc.hakusan.ed.jp

www.hakusan.ed.jp/~kcpta/

平成24年3月1日発行  
市P連広報委員会

印刷：有限会社 斉藤印刷



## 羨を思う

小松市教育委員会

教育委員長 北場 利美

教育委員に就任して、早いもので、もう九年になります。いろいろなことを体験し、勉強することも沢山ありました。なかでも、就任当初より、学校訪問の際に子どもたちの鉛筆や箸の持ち方、姿勢の悪さが目に付き、大変心配になりました。学校訪問や校長協議会など機会ある毎に鉛筆と箸の持ち方について、毎日、一、二分でも指導していただけるようお願いをしてみました。先生方の粘り強い指導もあり、最近では、完全ではありませんが、その成果が出てきており、よい方向に進んでいると喜んでいきます。

本来、子どもの羨は家庭でするべきであると考えますが、夫婦共働きが多く、核家族化が進んだ現在、家庭で充分なことができない状況であるとするれば、学校や地域社会でその手助けをしていかなければならないのではないかと考えています。

小松市立学校PTA連合会が「早寝早起き朝ごはん運動」を推

進され、軌道に乗ってきていることは誠に嬉しいことであり、これに「食べ残しをしない」ことを合わせて指導して行くことも大事だと思えます。教育委員会も全面的にバックアップして子どもたちの基礎、基本の充実に努めてまいりたいと思えます。

朝ごはんはその日のリズムを作るための大事な要であり、能の働きを活発にします。朝食をとる子どもの学力は、朝食をとらない子どもより高いと言うデータもあります。全員が朝食をとり、健やかに元気のよい子どもたちになるように願っています。

新年度から武道が必修化になりますが、武道の精神は「礼に始まり、礼に終わる」を基本にしており、礼に終わる」を基本にしており、相手を礼儀作法はもとより、相手の痛みがわかる健全な精神を作るためには大変よいことであると考えます。地域の指導者のご支援もいただきながら、怪我の無いように安全管理に十分努め、実施していかれるよう期待しています。

## 東海北陸ブロック

## PTA研究大会報告

小松市立学校PTA連合会 副会長 寺山陽一郎

昨年10月28日・29日に愛知県名古屋市中で開催された第67回東海北陸ブロック研究大会には、穴水町立穴水中学校が第3分科会にて、「学校を支える育友会活動と地域のつながり」というテーマで研究発表し、石川県P連からは、104名の参加がありました。

小松市P連からは、鹿田会長以下6名が参加しました。前夜は市P参加者の親睦を深め、翌日三千名が来場した愛知県体育館の全体会では、石川県P連に合流し、今回のテーマ「心響き合え、愛と知で」から、PTA活動は地域の未来をつくる活動である事を学びました。子どもたちの未来と笑顔のためには、まず自らを律し、自らの心を耕す事が大切だと改めて想いを深めたところです。

記念講演は、現在超売れっ子の「尾木ママ」こと、尾木直樹氏が講師で、「尾木ママ流」子育てと教育は愛とロマン」と題し、ユーモアたっぷりで、辛口の話もあつて、全く時間を感ぜさせないプロの教育評論家の話で、講演後は体に元気がみなぎる（エンパワーメント）内容でした。

来年の開催地、富山県魚津市、黒部市の呉東地区の人達の熱心なPRで締めくくられ、市Pの皆さんも機会があればぜひ参加していただければと思います。



# 早寝早起朝ごはん運動

大人が変われば子どもも変わる

## 小松市民大会



◆日時 平成23年11月23日(水・祝) 10:00～ ◆場所 こまつ芸術劇場うらら 大ホール

### ●● 講演会 ●●



演題

夢に向かう人づくりとは

講師 高嶋 仁氏 (智辯学園和歌山高等学校 野球部監督)

当日は、高嶋 仁氏による講演会を開催し、児童・生徒、PTA学校関係者以外に、市外からも高校生、一般といったうらら大ホールを埋め尽くす多くの方々にご参加を頂き、夢を持つことの大切さ、一生懸命に取り組む姿勢が、人の成長に結びつくといった独自の教育理念をもとにご講演いただきました。



「早寝早起朝ごはん運動」も本年度で5年目を迎え、早寝早起きと朝ごはんの食べることの重要性に対して、子ども達や保護者の方々、そして地域の方々の関心も年々高まり、今年も小松市全体でこの運動に取り組みました。児童・生徒には昨年引き続き、「生活リズム」「食とだんらん」「自主・自立」「規範・ルール」の4つの柱を基本に、夏休みの前半と後半の1週間に生活習慣チェックシートをつけてもらい、規則正しい生活リズムの確立や行動意識の改善に努めて頂きました。今年度は、「1日1回家族そろって食事をする」ことを重点項目と設定し、1日1度は家族で食卓を囲むことが出来るよう呼びかけましたが、増加したとは言えませんが、それぞれの家庭の事情によることも大きく、1日1回そろって食事をとることの難しさが結果となつて表れ、今後の課題であると感じました。

11月23日にこまつ芸術劇場うららにて「早寝早

### 「早寝早起き朝ごはん運動」を通して

小松市立学校PTA連合会  
特別委員会委員長 齋藤 浩

起き朝ごはん運動 小松市民大会」を開催しました。夏休みに募集した「標語」「ポスター・絵画」「我が家の朝ごはん」各部門と「ラジオ体操プラス1運動」をより活発に地域で推進いただいた地域功労者部門の表彰をさせて頂きました。そして、過去4年間の生活習慣チェックシートのデータを分析し、報告致しました。

「早寝早起き朝ごはん運動」も5年目の節目を迎え、ややマンネリ化してきていると言う意見もありますが、運動自体は地域全体、小松市全体に波及していることは間違いありません。各種団体と更なる連携を図り、更なる運動が広まることを願います。また、生活習慣チェックシートなどは、継続して取り組むことに意義があり、取り組むことによつて家庭や児童・生徒の意識向上、行動改善に結びつくものだと思っております。今年度も「早寝早起き朝ごはん運動」にご協力いただきましたまことにありがとうございます。



### 朝ごはん運動> 入賞者のみなさん

#### ☆「我が家の朝ごはん」部門

今江小学校 2年 長田うたほさん・安宅小学校 5年 西川 悠月さん  
安宅小学校 6年 北 朋美さん・蓮代寺小学校 6年 吉田 桃香さん

#### ☆「我が家の標語」部門

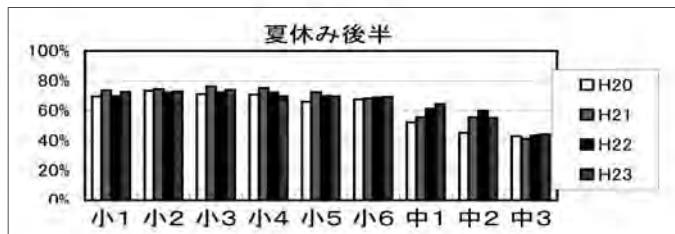
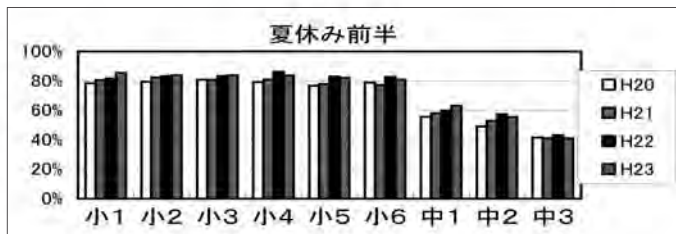
向本折小学校 4年 前田 啓登さん・犬丸小学校 5年 出倉 正啓さん  
蓮代寺小学校 6年 谷鋪 聡太さん・荒屋小学校 6年 坂本 瑞奈さん  
中海中学校 1年 泊 虹希さん

# 生活習慣チェックシート結果報告 (一部抜粋)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

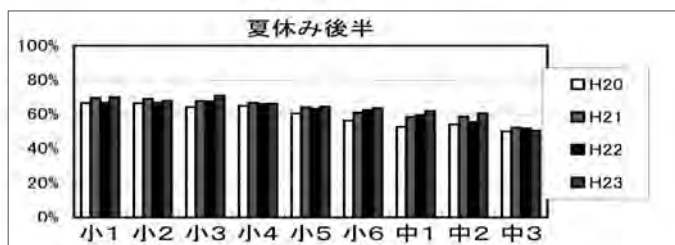
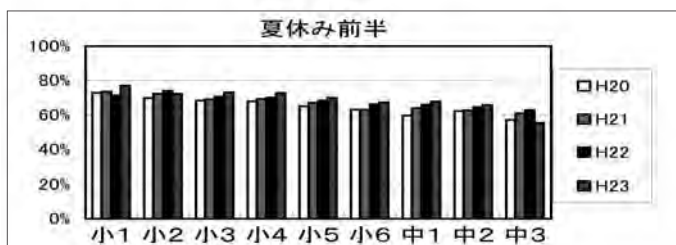
## 生活リズム

朝6時30分までに起きた人の割合



夏休み前半は、小学生の低学年では早起きできた割合が増えてきている。高学年では、昨年に比べやや減少している。中学生は小学生に比べ早起きできた割合は低い。中学3年生の割合が特に低く、4年間でも横ばいである。夏休み後半では、小学6年、中学1年が早起きできるようになってきている。特に中学1年生の割合の増加が著しく、小学生と中学1年生の差が小さくなってきていることはよい傾向だといえる。

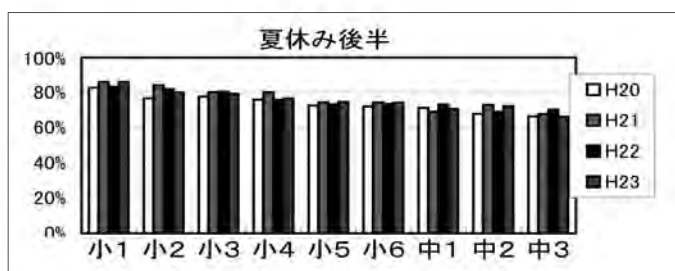
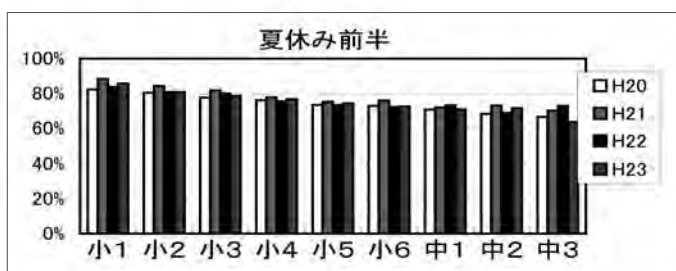
就寝時間の目標を達成できた人の割合



夏休み前半では、全体的に就寝時間の目標を達成できるようになってきている。夏休み後半は、割合が減少した昨年度から一転して目標を達成できた割合が増加している。就寝時間の目標については、決まった時刻ではなく個人の設定によるところも大きい。起床から就寝までの1日の生活リズムを意識して整えることができるようになることが望ましい。

## 食と団らん

1日1回以上家族そろって食事をした人の割合



本項目は今年度重点項目として設定し、1日1度は家族で食卓をかこむことができるようびかけた。しかし、昨年度に比べ特に夏休み前半で達成できた割合が全体的に減少している。夏休み後半では、小学1年生及び5、6年生において達成の割合が増加している。今年度重点項目としたことで達成の割合が増加したとはいえないが、それぞれの家庭の事情によるところも大きく、1日1回そろって食事をとることの難しさが表れている。家族そろって食事をするのが大切であることはもちろんであるが、できない場合は休日にたっぷり時間をとるなど家庭の状況に応じた取組の工夫が必要だといえる。



### ☆ 地域功労者部門

長崎・坊丸町公民館 様  
希望丘町内会 様

### ☆ 「ポスター・絵画」部門

向本折小学校1年 瀧口 徳志さん・能美小学校3年 土田桜友紀さん  
安宅小学校6年 西澤 舞さん・中海中学校1年 山口 雄太さん

## <早寝早起き





# 母 親 委 員 会

## 第3回 母親委員会 グループ別研究発表会

◆日時：平成23年10月7日(金) 午後7時より～ ◆場所：第一地区コミュニティーセンター

第2回母親委員会の講演会で、矢原珠美子先生の『これからの家庭教育』を拝聴し、その中から各グループでテーマを見つけ出し、討論し合い、研修しました。各グループで何度も集まり大変でしたが、大変意義のある勉強ができました。各小・中学校に活動内容の冊子を配布してありますので、是非御覧下さい。

### Aグループ

#### 家庭における「母性」と「父性」

中山 恵美(第一小) 久住 昭子(日末小) 野澤 美幸(犬丸小)  
竹田 則子(串小) 森田 寧子(稚松小) 高見 恵子(中海小)  
谷口木綿子(西尾小) 泊 敦子(東陵小)



### Bグループ

#### 「あたりまえだけど、とても大切なこと」

東 友起子(荒屋小) 瀬堂 香織(那谷小) 清水富美子(苗代小)  
宮岸 恵子(蓮代寺小) 玉田 紀子(矢田野小) 山本美由紀(栗津小)  
西尾万知子(国府小) 宮崎かおり(能美小)



### Cグループ

#### よりよい家庭教育のために、 家族のルールを築いていこう！

川上 邦代(符津小) 吉田 香(月津小) 増田 清美(安宅小)  
北村 里美(向本折小) 佐々木友理(今江小) 坂本ひとみ(芦城小)  
山作真由美(波佐谷小) 角井基代美(木場小) 松本 恵子(金野小)



### Dグループ

#### 「子育ての原点は家庭から」

～あなたはあたりまえのことを教えていますか？～

谷 公子(国府中) 元田 理香(御幸中) 宮崎 弘美(南部中) 中川 由紀(松陽中)  
北本ゆかり(芦城中) 森 みのり(板津中) 角谷佳世子(安宅中) 茶谷 美雪(丸内中)  
岡本真由美(中海中) 中川 明美(松東中)



## 母 親 研 修 会

平成 23 年 10 月 19 日 (水)

加賀友禅「毎田染画工房」見学 → 金沢市立中村記念美術館（見学・お茶席）→ 金城樓（昼食）→ ひがし茶屋街「中むら」中村 驍氏の講座

PTA 会長をはじめ総勢 34 名の参加で石川県の伝統工芸を見学してきました。普段はなかなか行けない所ばかりで実のある研修会となりました。



花嫁のれん ラッキー (!?) なのか 2 度目!



## 参加者の感想

- 金沢の伝統と文化に間近に触れることができ、とても良かった。
- 人と人との繋がりの大切さ、伝統を受け継ぐ職人の大変さがとても勉強になった。
- 格式のある場所での昼食はとても美味しかった。
- 金沢の伝統文化と母大の皆さんとの交流を満喫できました。

母親委員の皆様におかれましては、一年間で協力いただきました。ありがとうございます。

「頑張ってるね」と素直に伝えられる親になれたらと思いましたが、なかなか思うようには出来ませんが、今しかない子育ての時期を、生き生きと過ごせたらと思います。最後になりましたが、母親委員会の活動を通じて多くの方と出会い、沢山のことを学びました。今後の PTA 活動に生かしていきたいと思えます。



母親委員会 母親委員長

浅蔵 一華

「ほめる」ということは、叱るより難しいことなのかもしれない。

「ほめる」が上手い人

## 読んで みまっし ♪

スーパーパティシエ物語  
ケーキ職人：辻口博啓の生き方

輔老心／著 出版社名／株岩崎書店

神奈川県 ≪ 夏の推薦図書 ≫  
としても紹介されました。



私たちが母親委員会の  
広報を担当しました。

一年間ありがとう  
ございましたm(\_ \_)m

森田 寧子 西尾万知子  
角井紀代美 坂本ひとみ

# 第14回 小松市中学校新世代会議

## 事業概要

- 日時・場所 平成23年11月20日(日) 14:00～16:45 第一地区コミュニティセンター2F 多目的ホール
- 事業目的 子ども達が今、何を考えているのか本音や生の声を聞き、今後のPTA活動の参考とする事
- 対象者 小松市立中学校生徒40名(各中学校2年生 男女各2名)
- 事業内容 4テーブルに分かれて、子ども達からアンケートで抽出したテーマについてのディスカッション(司会・進行 新世代委員)



会議前の名刺交換



参加して頂いた皆さん  
御協力ありがとうございました。

- ◆Aグループ 『部活について』
- ◆Bグループ 『勉強について』
- ◆Cグループ 『人間関係について』
- ◆Dグループ 『規則・規律について』

## 第14回 小松市中学校新世代会議 「それぞれのテーマにて」

新世代委員長 松井 重樹

今年度のテーマは参加した生徒達が本音で話し合いが出来るように、他校の生徒と話したい事を事前にアンケートし、(部活、勉強、人間関係、規則・規律)の4つのテーマにグループ分けし会議してもらう事にしました。

他校の生徒達と話すという事もあり、始めは大人しい生徒達でしたが会議前に新世代委員で企画した各グループ毎での名刺交換(自己紹介)をしていくにつれ徐々に緊張感も解け、話も盛り上がり活発に意見交換が出来たのではないかと思います。

会議本番では参加してくれた生徒全員が活発に意見交換し、中には自らグループをまとめていく生徒もいる程緊張感も解け、生徒達が本音で話合えたとても有意義な会議になったと思います。

多感な中学生ですから個々に悩みをもっていると思います。今回の会議のように学校や家庭におかれましては話し合いをし、その悩みに立ち向かってほしいと思います。生徒達も今回の会議を通して議論する事の大切さや、同じ年の友達が同じように悩んでいる事を知り視野も広がり1回り大きくなって帰ったと信じています。

新世代会議の報告書を市内中学生全保護者に配布してありますので是非一読して頂き今後の育成に役立てて頂ければ幸いです。

最後に4月から準備をして下さいました新世代委員ならびに、今回ご協力下さった母親代表の皆さんのおかげで今年度の新世代会議を無事終えることができました。

ご協力誠にありがとうございました。



## 単Pだより

## アンケートまとめ

今年度、各単Pにおいて開催された講演会等の事業です。  
今後の事業計画の参考にして下さい。

## ●小学校

学校名	講師名	講座名	講座内容
芦城小学校	丹羽 俊夫	教育講演会	演題「思春期の子どもたちとどう付き合いますか」
稚松小学校	ターナ陽子	親子ふれあい教室	ヨガ
安宅小学校	春木 春一 行松 宏展	星を観る会 和菓子作り	天体観察 和菓子作り
犬丸小学校	小松警察署 小松工業高校 ブラスバンド部	非行被害防止講座 犬丸っ子サポート会健全育成講座	ネットトラブルの防止 マーチングバンド公演会
荒屋小学校	土田 智子 (小松ガス エコクッキングインストラクター)	親子でエコクッキング	親子でエコクッキング(ハヤシライス・サラダ・デザート)体験
第一小学校	上田 清隆 川崎 義光 若杉町一水会	陶芸教室 そばうち いもほり	焼物づくり そばうち体験 さつまいもづくり
苗代小学校	松本 進(苗代小校長) 太田 英一(苗代小教諭)	親子ふれあい講座	苗代小合唱団と歌ったり踊ったり親子で音楽に親しむ
向本折小学校	西出清浩(市教育センター指導主事)	非行・被害防止講座	児童の実態と保護者の関わり方
蓮代寺小学校	玉屋 葵(小松警察署 生活安全課)	非行被害防止講座	携帯電話等による非行被害の例と親として子どもの変化に気を付ける点
今江小学校	長戸英明(よしただけ保育園理事長)	子育て講座	子どもを育てる親とは(新1年生対象)
申 小学校	小松市消防本部 藤岡 洋子(小松教育事務所)	水上安全講習会 非行・被害防止講座	AEDの使い方 子どもの育ちを支える家庭の役割
日末小学校	澤田 晟圭祐	親子のきずな	健康の大切さに留意し、家族の絆を強めていく
符津小学校	油片 吉徳(市消防本部 予防課)	震災から学ぶ危機管理	震災・災害・危機管理について学ぶ
粟津小学校	北川 富子	子育て講座(新一年生保護者対象)	子育てにおいて、大切なこと。小学校に入学するまでにはしておかなければならないこと。
木場小学校	岡山 欣彦	子どもと視力について	テレビやゲームの目に与える影響と外遊びの大切さ
矢田野小学校	山本 敬子	親子で楽しく健康的にウォーキング	親子姿勢チェック ①姿勢チェックと矯正の仕方 ②姿勢を整えるストレッチ ③正しい歩き方
月津小学校	竹内 のり子 (お話ボランティア団体 お話宅配便)	おやこでたのしみ、ステキな本の世界	本の読み聞かせ
那谷小学校	西出清浩(市教育センター指導主事)	教育講演会	子どもの心と保護者のかかわり
国府小学校	上野 良樹(市民病院小児科部長) 坂本 和哉(市教委教育長)	舟見学級 子育て講座	子どもも夫もほめて育てる(心と身体の成長・ほめる事の大切さについて) 演題「子どもとともに自分育て」
中海小学校	谷口 一登	非行・被害防止講座	携帯・ケータイ 親と子どものケータイ観
金野小学校	名倉 紀子(北陸体力科学研究所)	あなたの姿勢は大丈夫?	なんで姿勢は悪くなるのだろう? なんで姿勢が悪いとだめなのか? バランスアップトレーニング親子で参加(体育館にて実技)
西尾小学校	長澤 幸乃 松下 美絵	オペラを楽しもう	参加型コンサート 親子で歌を歌ったり聴いたり楽しいひとときを!
波佐谷小学校	中崎 衣美 (ダイナミック管理栄養士)	教育講座会	食べる子・強い子・元気な子・食事の大切さ
東陵小学校	土田 晶子(カウンセラー)	親子の関わり方	「親子の関わり方」について映像を見ながらの講話
能美小学校	江村 直美	ボクササイズ体験教室	親子でボクササイズを体験し、心身ともにリフレッシュする

## ●中学校

学校名	講師名	講座名	講座内容
芦城中学校	名倉 紀子(北陸体力科学研究所) 藤津桂津巳(職業シニアインストラクター)	目指せ姿勢美人目指せ動ける体 思春期も柔笑魔法の話し方・聞き方	「ヨガ」や「ピラティス」などの動きを取り入れ腰痛予防、競技力アップを目指します。 思春期の子供の心を理解する、保護者向け体験学習
丸内中学校	玉屋 葵(小松警察署 生活安全課) 清水 茂(県教育委員会 生涯学習課)	健全育成講演会 成人教育講演会	携帯やネットの危険性と保護者の対応についての講演 青年期の子どもへの親としての在り方・考え方
松陽中学校	村松 真貴子	子どもを通じて広がる世界 ～心と心をかよわせて～	子育てする事によって新たな自分を発見し子どもを通じて今迄見えなかった社会の仕組みを発見。 子育ては自分の世界を広げるチャンスである。と体験段を交えての講演。
御幸中学校	高塚 存昶	P T A 教養講座	演題「2つの真実3つの生き方」 親子関係の作り方や子育てのヒント
南部中学校	西出清浩(市教育センター指導主事)	非行・被害防止	非行の兆候と未然防止 家庭で子どもとどう関わっていくか
国府中学校	西出清浩(市教育センター指導主事)	家庭教育講座	思春期の心と親の関わり
中海中学校	土田 晶子 (北陸体力科学研究所 心理相談員)	本番に強い心を作る	講話(パワーポイント)
松東中学校	高塚 存昶	子育ては親育ち	子育ての意味・家庭・学校においての子どもに対する親 子育てを通じて親も学ぶことも多く成長するということ
安宅中学校	谷口 一登	教育講演会	ケータイに潜む危険について
板津中学校	小松市消防本部 小松市防災センター ドリームサクソフォンアンサンブル	第1回いたづ学級 第2回いたづ学級 第3回いたづ学級	万一に備えて 災害からあなたと家族を守るため サクソカルテットの調べ



# 荒屋小学校育友会「石川県教育委員会表彰・石川県PTA連合会会長表彰」受賞

## 受賞の喜びとこれからへの思い

荒屋小学校育友会 会長 田中 学

このたび、荒屋小学校育友会は「石川県教育委員会表彰・石川県PTA連合会会長表彰」という名誉ある賞を頂きました。関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、育友会ではこれまで「環境」「生活」について地道な活動を続けて参りました。そんな中、さらにこの取組みの重要性を認識できる機会を得ました。それが「PTA研究大会」でした。大会以前にもアンケートや講演会で少しずつではありますが、保護者の皆様に様々な問い掛けを行って参りましたが、この大会でより深くテーマを絞って活動できたのではないかと思います。

エコチエック活動、早寝早起き朝ごはん運動の推進。メディアとの関わり方の見直しなど、より広範囲により深く取組みました。その結果、親子のコミュニケーションについての課題が浮き彫りになりました。子ども達と真摯に向き合うことが、どれほど重要かを改めて認識することができました。これらの活動を評価頂いたことは、育友会の大きな励みとなりますが、一方でその賞に恥じない活動を続けていく責任も感じます。

最後に、この受賞の喜びを我々会員一同が心に刻み、児童、保護者のために取組んでいくことをお誓い申し上げます。



## PTA活動に参加して

小松市立学校PTA連合会  
副会長 嘉藤 志保

PTA活動は、単P・市Pと二年になります。

今年度は県Pの家庭教育委員会に参加させて頂きました。各地域で様々な取り組みをされていて、とても素晴らしいと感じました。その中で、川北町では防災について取り組まれていました。昨年は子ども達が関わる悲しい出来事が沢山ありました。このような事が起こらないように、防災や防犯についても考えて活動できたらいいのではないかと思います。

また、第二回家庭教育委員会では「親子のコミュニケーションスキルを磨きましょう」という演題の講演を聴きました。「子どもの心の中の声を聴く。」「言葉のキャッチボールをする。」という事の大切さを再認識しました。

これらのPTA活動を通じてたくさんの方々と出会い、話しをする機会を持つ、とても良い刺激を受けました。これからも、保護者・学校・地域の方々と繋がりを深め、たくさんの方々の目で見守り、子ども達が安心出来る社会になるように活動していけたらと思います。

## ひだまり

## 学校行事に参加して

小松市立学校PTA連合会  
副会長 出倉 史恵

先日、子どもが通う小学校での恒例行事「なわとび集会」に行ってきました。三重跳びの披露や制限時間内で跳んだ回数を競うリレーなど、子ども達の頑張っている姿にとても感心しました。それにもまして一番驚いたのは、昨年を上回る大勢の方が見に来て下さっていたことです。暖かい応援のおかげで、子ども達は練習の成果を発表する素晴らしい場とたくさんの方の拍手を貰うことが出来ました。そこで感じたことは、保護者や地域の方々の積極的な参加で学校行事を盛り上げること、子ども達を応援し、成長させることに繋がると言うことです。一人でも多くの方に機会を見つけて、色々な学校行事に参加して頂きたいと思いました。きつと家族が見に来てくれるだけで、とても励みになることでしょうか。一人ひとりの協力する気持ち、地域ぐるみの応援となり、その積み重ねが学校、家庭、地域間の連携の土台になると、つくづく感じました。

## 編集後記

今回、単Pだよりに新しい試みを取り入れてみました。アンケートにご協力いただいた皆様、この場を借りまして感謝申し上げます。各校での事業計画の参考にしていただければ幸いです。

広報委員長 仁多見 英明